



今年1月、自民党政治刷新本部の有識者会議に、若い地方首長として発言を求められ、出席させていただきました。地方にとって、国の政治が早期に健全化することが今は大事であると考えたからです。

津南町は、新潟県中越地域にあり、越後湯沢駅から車で45分ほど行ったところにあります。現在の人口は8500人ほどで、2023年末の国立社会保障・人口問題研究所の推計人口では、2050年には4700人ほどに人口が減少する、そういう環境にあります。ここで、町議から数えて13年、今は町長を務めている経験から、2021年から国土形成計画の検討委員にも携わらせていただき、都市と地方の地域差をどう政策や法律で是正できるかという検討もしてまいりました。

有識者会議では、「資金の不記載」や「派閥(政策集団)」の論点は専門家の先生がいらっしゃいましたので、私ほもう一つの論点「政治とお金」の関係について言及しました。地方においても、同



新潟県津南町長  
桑原 悠

様の悩みを抱えている部分は大きく、その本質について、長く感じてきたところがあります。

富を持てる者、お金優先で何かが決まる、ということとは、「今強い人」が強い

## 「政治とお金」の関係 — 地方首長の視点から —

ま、変わろうとする動きが生まれにくく、近視眼的な判断の積み重ねで、負債の積み増し、課題の先送りになるような意思決定が多くなるように感じております。過去の人口拡大・経済成長の段階における運営としては、それで成り立ってきたのかもしれませんが、成長を加速させるためには、それが正しく、重要であったのかもしれませんが、一方で、それによる課題と、その影響の結果が、真っ先に表面化してきたのが地方だと思います。

既存の強者が強いまま、変わろうとしないというなかでは、新たな産業は生まれにくく、若者に対する投資は進まず、多様な価値観を受け入れることはできないのではないかと。その結果、地方の若者は外に出て、外から若者が入ってくることは少なく、縮小し、今では現状の維持が困難な状態になっている所が多くなっています。いわゆる閉塞感です。これではいかというのが、国民の政治不信の根幹にあると思います。

力者を集める、町民に正面から伝え、説き、進める。そうして民意やお金を導いていく、物事を動かしていくことこそが、政治の本懐ではないかと感じています。したがって、良い政治をして、結果として経済がまわるというように、「政治とお金」はそういう関係であってほしいと思っています。

また、政治不信回復には、選挙制度や国会運営のあり方など、さらに大きな改革を見据えるなかで、より多様な人材、より経済・文化的に活躍している人材が参加できる政治のあり方が望ましいと感じております。

幸いなことに、津南町においては、それではいけないと次第に町民も気づき始め、新しい風を起そう、外からも目を向けてもらおう、そうして、私のような女性かつ若者にも貴重な支持をいただき、それに対し行政を担い、応えようとしている日々です。

地方の一町長として、確かにもっとお金があれば、あれができる、これもできる、人も集められる、そのように思うときもあります、必ずしもお金を必要とするものでなくとも良い政治をする、協

今日、経済金融の状態が良く、日経平均株価も歴史的な水準で、失業率は低く、大企業を中心に賃上げが進んでいきます。戦争のない平和な日本の価値も高まっています。ダイバーシティを推進する取り組みや法案も動いています。これらの状態が、地方にどう影響しているのか、地方とどうつながるのか、地方首長としては最も気になることです。そういう議論を、早期に国政において期待することにも、少なくとも私は町政において、理想とする姿を描き、やっと少し変わっていく部分が出てきていると感じ、進めてまいりたいと存じます。